

中間報告

1 平成21年度研究主題

「心豊かで自立する力の育成（3年次）」
～学級経営や体験的活動の充実を通して～

2 主題設定の理由

本校は教育目標を、次のように掲げている。

知・徳・体の調和がとれ、自らに誇りを持って、心豊かにたくましく生きぬく生徒を育成する。

「知・徳・体の調和がとれる」生徒を育成するためには、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図るとともに、規範意識を高めることと気力の充実が必要である。また、「自らに誇りをもつ」ためには、自分の価値観や考えを、他者との交流の中から見つめ直し、正しく判断し、行動することが必要である。さらに、「心豊かにたくましく生きぬく」ためには、覇気と気力に満ち、学習や、行事、部活動において、積極的に行動できる健康な心身を育むことが大切である。

本校の生徒は、比較的明るく、素直で、良い面を多く持ち合わせている。そのため、学校全体が落ち着いた状態にある。しかし、社会のモラルの低下や人間関係の希薄化により、子どもたちの意識や行動にも少しずつ変化が見られるようになった。

そこで、子どもたちが気力を充実させ、心豊かに自立し、生き甲斐のある人生を送られるようにするために、望ましい人間関係づくりや規範意識の高揚、思いやりの心の育成が必要である。

そのために、本校では、一昨年から「学級経営や体験的活動の充実」を図る取り組みを行っている。学習の基礎・基本を定着させるとともに、話し合い活動や係活動を活発にさせることで、生徒の学ぶ楽しさや成就感、さらに、生徒の自主性や協調性を育みむことができると考える。また、ボランティア活動や、旅行宿泊的行事、職場体験学習などの様々な体験活動を充実させることで、豊かな人間性や社会性を身につけることができると考える。

3 研究の視点

（1）学級経営の充実に関する研究

望ましい集団づくりのための指導の在り方の研究と実践。

3学年を通した進路指導計画の作成、指導の充実。

生徒の自治能力を高める学習内容や形態の工夫。

主体的な生徒会活動や学校行事への生徒の積極的な参加。

(2) 体験的活動の充実に関する研究

自然体験やボランティア活動等の推進。(宿泊学習 , 地域清掃 , 地域行事への参加等)
各教科や道徳及び総合的な学習の時間との関連の深化。
進路に関する体験活動の充実。(職場体験学習 , 高校体験入学 , 先輩に学ぶ学習等)
家庭・地域との連携による豊かな教育環境作り。

4 研究の全体計画

(1) 研修の努力点及び具体策

努力点

教師の資質向上のための , 校内研修や校外研修の充実に努める。また , 研究テーマに基づき , 全体・学年統一した指導の充実に努める。

具体策

- ア 授業を核とした校内研修の充実
- イ 学年部会・教科部会・分掌部会の充実
- ウ 生徒指導についての事例研修等
- エ 道徳研究会を活用した校内の道徳指導の充実
- オ 研究テーマに沿った実践を通じた研究とそのまとめ
- カ パソコン研修と活用の促進
- キ 標準学力検査や「基礎基本」定着度調査の活用方法についての研修の実施
- ク 先進校視察や教育教育センター等の教育機関を利用した研修の促進

(2) 研修計画

月	研 修 内 容	月	研 修 内 容
4	校内研修計画	8	特別支援教育
5	生徒理解 標準学力検査の分析		生徒指導 (不登校への対応)
6	特別活動 (今年度の取組) 小中連携研修会 (中郡小) 道徳教育	9	教育課程
		10	生徒指導
		1	特別活動 (まとめ)
7	学活・道徳・教科 (研究授業)	2	進路関係
8	パソコン・情報教育 生徒指導 (ストレスマネジメント)		

(3) 研究テーマに対する取り組み

1 年次にあたる一昨年度は , 特別活動研究大会 (平成 19 年 10 月 16 日) の取り組みを通して ,

特に、「望ましい集団づくりに関する研究の実践」を行い、学習の取り組み方や、話し合い活動の方法等を身につけさせることで、学習基盤を築く取り組みを行ってきた。

2年次にあたる昨年度は、体験学習や教科との連携を図った、3学年を通した進路指導の工夫について研究を行う。

3年次にあたる今年度は、生き方、学び方に関することを、昨年の研究実績を踏まえた上で、進路指導の充実について研究を行い、3ヶ年計画の本研究テーマのまとめの年としたい。

5 研究の実際

(1) 3学年を通した進路指導計画の作成，指導の研究とその実践

計画作成のポイント

- ア 地域や学校，生徒の実態等の把握
- イ 生徒の興味・関心，能力・適性の十分な分析と理解
- ウ 自主的・実践的な話し合い活動の充実
- エ 体験的活動学習との連携を図る

実践例

1 題 材 「学習の達人になろう」(1年)

2 めあて

- ア 日頃の授業態度を振り返り，定期テストに向けての意欲を高める。
- イ 家庭学習のあり方を考え，他人のよいところを取り入れ，今後の家庭学習にいかしていけるようにする。

3 本時の実際

過程	活動の内容	時間	指導・援助の留意点・準備
活動の開始	1 本時のテーマを確認する。 学習の達人になろう	3分	・ 中学校生活最初の期末テストが近づいていることの確認も行う。
活動の展開	2 学習の基本である授業に対する取組を振り返る。 画用紙にシールを貼って，現在の授業態度を色で確認する。 画用紙を赤色でいっぱいにするにはどうすればよいかを考える。	15分	・ 中学校生活にもだいぶ慣れてきた中で最近の授業態度はどうか振り返らせる。 ・ 授業態度が良いと思う人は赤，あまり良くないと思う人は茶色，良くないと思う人は黒色のシールを黒板に貼ってある用紙に貼りにこさせる

	<p>3 家庭学習のあり方について考える。 みんなが平日や休日にどれくらい学習しているかアンケート結果を見て確認する。 みんながどんな学習をしているかをアンケート結果から知る。</p> <p>4 学習に関する疑問点や困っていることをみんなで解決する。 ・ 黒板に張り出された問題点に関して、自分が答えられそうなものを1つ選んで付箋に書き、黒板に貼る。</p>	<p>12分</p> <p>17分</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 付箋に授業態度を改善するために有効なことを書いて、黒板に準備した用紙に貼らせる。 アンケート結果の掲示。 事前にいった家庭学習に関するアンケート結果を掲示する。 アンケートの中であがってきた学習に関する疑問点や困っていることで代表的なものをいくつかあげ、黒板に貼る。 保護者の方にも、生徒とは違う色の付箋紙を配り、問題点に関するアドバイスを書いてもらう。
ま と め	10 教師によるまとめの話を聞く	3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時で述べた意見を参考に、活かせることを見つけて、今後の学習やテスト勉強に活かしていくように伝える。保護者の方へのアドバイスに対する感謝の気持ちを述べ、今後の意欲へつなげるようにする。

4 評価

ア 日頃の授業態度を振り返り、今後へ活せる具体策を見つけることができたか。

イ 他人の意見を聞き、今後の家庭学習のあり方を考え、実践しようという意欲へつなげることができたか。

< 成果と今後の課題 >

成果

- 各学年で、同じ指導案で、日曜参観に一齐指導を行った。保護者の方々が、参観をし、進路指導と一緒に考えてくれるよい機会となり、進路指導の家庭との連携にも役だった。
- 事前にアンケートをとり、生徒の実態をつかむことができた。
- 授業や家庭学習を振り返るいい機会になった。
- 他人の意見を聞く態度が身につけてきたことを実感できた。

今後の課題

- 各学年の進路指導計画を見直し、共通実践をする内容を考える必要がある。
- 継続して指導が行えるように、研究結果を蓄積し、今後につなげていく必要がある。